

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 29 年 2 月 28 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	温泉熱を利用した温熱供給システムと排熱回収ヒートポンプ冷暖房システムによる省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJKC0009
排出削減事業者名	鶴雅リゾート株式会社
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人 北海道環境財団
事業実施場所	あかん遊久の里 鶴雅 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4 丁目 6 番 10 号) あかん鶴雅別荘 鄙の座 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 2 丁目 8 番 1 号)
事業の概要	本事業は、本事業は温泉熱の段階的な熱回収およびヒートポンプの総合利用により、重油消費量ゼロ、および温泉使用量を削減するシステムのモデルを目指すものである。 従来は給湯、給気加温、浴槽の循環加温、暖房の熱源をほぼ全て重油で賄い、冷房熱源は冷却塔を利用していた。本技術の導入により、重油消費量を大幅削減し、環境負荷の低減に貢献する。
排出削減量の計画	2010 年度~2011 年度 : 1,770 tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度 : 1,714tCO <sub>2</sub> /年 2013 年度 : 1,656tCO <sub>2</sub> /年 2014 年度-2017 年度 : 1,667 tCO <sub>2</sub> /年  (事業実施期間合計 13,578 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2017 年 3 月 31 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2017 年

	3月31日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 方法論番号 009 温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2016年3月31日（第7回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,949 tCO <sub>2</sub> （2015年4月1日～2016年3月31日）
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 電力量計等の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。しかし、あかん鶴雅別荘 鄙の座における温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用に関しては、機器の故障により、使用が止められていることを現地にて確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 電力量計等の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 電力量計等の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされ

	<p>ており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 電力量計等の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.6 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を電力量計等の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2017 年 3 月 31 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 31.5kL、熱量換算 1,220GJ、再生可能エネルギー利用量として、原油換算 523.7 kL、熱量換算 20,299.8GJ であることを確認した。

以 上